

2019（令和元）年度 中小企業・経営研究所報

2019.4.1～2020.3.31

- I. 研究所員会の開催
- II. 新第一次中期計画の目標達成に向けた取り組み
- III. 補助金の獲得
- IV. 研究活動
- V. 国際学術交流への取り組み
- VI. 資料活動
- VII. 刊行物
- VIII. 対外活動
- IX. 研究所人事
- X. その他

I. 研究所員会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今年度は不開催とした。共同研究各グループの2019年度活動報告については、発表用資料の提出をもって報告に代えた。

II. 新第一次中期計画の目標達成に向けた取り組み

2019年度に策定された新第一次中期計画の目標達成に向け、「主要施策 取組み 目標設定・進捗状況確認シート」により、諸施策の進捗確認を行った。

III. 補助金の獲得

2019（令和元）年度も以下のように補助金を得た。

- ・研究費：「私立大学校等経常費補助金特別補助 IV. 大学院等の機能の高度化への支援 2. 研究施設運営支援」（日本私立学校振興・共済事業団へ提出）
 - 申請額：29,154千円
 - 補助金額：14,012千円

Ⅳ. 研究活動

A. 共同研究【2018（平成30）～2019（令和元）年度】

1. 『一帯一路プロジェクトによる産業構造への影響』グループ

① 研究組織・研究課題

研究代表者：藤井 大輔（経済学部講師）

「海外進出中国企業の立地要因分析」

研究分担者：山本俊一郎（経済学部教授）※2018年度のみ

「国際工程間分業の変容に伴う中小零細製造企業の戦略」

吉田建一郎（経済学部准教授）

「一帯一路と中国東北地域」

遠原 智文（経営学部准教授）

「日系企業とアジア系企業の高度専門職活用法比較分析」

三島 重顕（経営学部准教授）

「日系企業とアジア系企業における若年労働者の雇用問題」

松岡 憲司（2018年度：龍谷大学経済学部教授，2019年度：龍谷大学名誉教授）

「アジア諸国の産業構造」

② 共同研究費配分額

2018年度：1,750千円

2019年度：1,750千円

2. 『グローバリゼーションと社会関係資本を中心とした地域創生』グループ

① 研究組織・研究課題

研究代表者：伊藤 大一（経済学部准教授）

「グローバリゼーションの中での雇用問題」

研究分担者：後藤 一郎（経営学部教授）

「グローバリゼーションの中での流通問題」

伊藤 裕人（経営学部教授）

「グローバリゼーションの中の地域と企業・起業家」

重光 美恵（経済学部准教授）

「グローバリゼーションの中での人材流動」

小川 貴之（経済学部教授）

「グローバリゼーションの中での地域と産業の復興政策」

中尾田 宏（経済学部准教授）

「グローバリゼーションの中での企業の資金調達環境」

阿部 聖（愛知大学地域政策学部教授）

「グローバリゼーションの中での地域企業」

永島 昂（立命館大学産業社会学部准教授）

「グローバリゼーションの中での地域産業」

② 共同研究費配分額

2018年度：1,750千円

2019年度：1,750千円

3. 『アントレプレナーシップ研究』グループ

① 研究組織・研究課題

研究代表者：江島 由裕（経営学部教授）

「ファミリー／スタートアップ・アントレプレナーシップの研究
－機会、戦略行動、環境、成果－」

研究分担者：吉野 忠男（経営学部教授）

「スタート・アップ期における起業家活動とイノベーション－そ
の成長・発展要因の研究－」

足代 訓史（2018年度：経営学部准教授，2019年度：拓殖大学商学
部准教授）

「ICT 業界における企業家的な戦略転換及びビジネスモデル革新
のメカニズムに関する研究」

藤野 義和（九州国際大学現代ビジネス学部准教授）

「地域のソーシャルアントレプレナーシップならびに同族経営企
業（含むファミリーアントレプレナーシップ）にかかわる事例
研究」

相原 基大（北海道大学大学院経済学研究院准教授）

「グローバル／ローカル・アントレプレナーシップの国際比較研
究」

Brian S. Anderson（Assistant Professor University of Missouri-
Kansas City）

“The antecedents, consequences, and ontological assumptions
underlying entrepreneurial orientation”

② 共同研究費配分額

2018年度：1,750千円

2019年度：1,750千円

4. 『企業の国際化と経営戦略に関する研究－現地化戦略と政策支援を中心に－』グループ

① 研究組織・研究課題

研究代表者：太田 一樹（経営学部教授）

「企業の国際化と日本的経営の適用の課題」

研究分担者：井形 浩治（経営学部教授）

「国際化と日本企業のガバナンス戦略」

田中 健吾（経営学部教授）

「組織の従業員ストレスと人材育成」

高原 龍二（経営学部准教授）

「現地化戦略と組織行動」

須佐 淳司（常葉大学経営学部准教授）

「サービスドミナントロジック化と日本企業のサービスマネジメント」

越村惣次郎（大阪府商工労働部 2018年度：大阪産業経済リサーチセンター，2019年度：大阪産業経済リサーチ&デザインセンター）

「中小企業の国際化のための政策支援の課題」

平井 拓己（武庫川女子大学生生活環境学部准教授）

「地域経済と現地化戦略」

② 共同研究費配分額

2018年度：1,750千円

2019年度：1,750千円

B. 個人研究【2018（平成30）～2019（平成31）年度】

今期間の該当者なし

V. 国際学術交流への取り組み

（1）漢陽大学校経済研究所との学術交流協定に基づく交換研究者の派遣

- ・受入研究者：なし
- ・派遣研究者：なし

（2）第16回 中小企業・経営研究所と漢陽大学校経済研究所との共同研究発表会

当研究所と漢陽大学校経済研究所（韓国・ソウル特別市）との間で1998年12月に学術交流協定が締結され、以来毎年、相互の研究者の派遣・受入を行っている。2004年度からは、相互の研究者の研究成果を発表する場としての「共同研究発表会」を開催

することになった。その基本課題を「日本，韓国，中国に係わる経済・経営問題，即ち東アジア経済圏の経済，経営活動」について研究・議論を深めることにしている。そこから共同研究が始まることを期待しての交流会である。

第1回（2004年），第3回（2006年），第5回（2008年），第7回（2010年），第9回（2012年），第11回（2014年），第13回（2016年），第15回（2018年）は漢陽大学校にて，第2回（2005年），第4回（2007年），第6回（2009年），第8回（2011年），第10回（2013年），第12回（2015年），第14回（2017年）は本学にて開催した。今回第16回目は，本学にて“Economies and Business Management Activities in Asia”というテーマで11月1日（金）に開催した。報告，コメント等は全て英語でおこない，盛会のうちに終了した。

この共同研究発表会は，今後も開催校を，漢陽大学校，本学と交互に交替しながら毎年継続していく計画である。

【プログラム】

The 16th HERi-ISBR Joint Symposium

“Economies and Business Management Activities in Asia”

日 時：2019年11月1日（金） 9：10～12：45

場 所：本学 E 館 7 階第 1・第 2 会議室

開会の挨拶

山本俊一郎（大阪経済大学学長）

Chun, Young Jun（漢陽大学校経済研究所長）

第1 報告

テーマ：“Organizational and occupational commitment: Managing pharmacists”

報告者：本間 利通（本学経営学部准教授）

コメンテータ：田原 慎介（関西学院大学人間福祉学部助教）

第2 報告

テーマ：“Stochastic frontier analysis on China’s outward FDI to ASEAN countries”

報告者：藤井 大輔（本学経済学部講師）

コメンテータ：藤原 忠毅（本学経済学部准教授）

第3 報告

テーマ：“The Long-Term Effect of Recent Housing Policies on Korean Economy”

報告者：You, Hye Mi（漢陽大学校経済金融大学准教授）

コメンテータ：梅根 嗣之（本学非常勤教員）

第4 報告

テーマ：“Repeat Applications in College Admissions”

報告者：Koh, Youngwoo（漢陽大学校経済金融大学准教授）

コメンテータ：平井 拓己（武庫川女子大学生生活環境学部准教授）

閉会の挨拶

崎田 洋一（大阪経済大学常務理事）

Chun, Young Jun（漢陽大学校経済研究所長）

（3）復旦大学日本研究センターとの交流

なし

Ⅵ. 資料活動

1. 資料収集の状況とその利用

（1）資料収集の特徴

当所が収集する文献は、概ね次の3種類に大別することができる。

- ・内外の中小企業に関する文献
- ・企業分析資料－会社史・経済団体史、有価証券報告書等
- ・白書、統計書

（2）利用状況

現在は利用統計の集計は行っていないため、数量的には把握できないが、利用対象者は学内教員、学生、並びに学外者（中小企業研究者、学生、行政機関関係者、経済団体職員、企業関係者等）であった。

（3）年間受入数

- ・図書、資料、年報 和 880冊、洋 25冊
- ・雑誌 和 355タイトル 洋 23タイトル
- ・有価証券報告書 ・eol データベース

（インターネット経由のアクセスと、各年度末に納品されるCD-ROM版から構成されている。上場企業有価証券報告書・非上場有価証券報告書・新規公開目論見書・企業基本情報等所収）

*ただし過年度のものは、昭和35年度から冊子版、マイクロ・フィッシュ版、CD-ROM版で保存している。

2. 二次文献の作成

（1）中小企業関係で継続刊行中の二次文献の作成

- ・「解説および書評」『中小企業季報』（大阪経済大学中小企業・経営研究所）2019 No. 1～4

VII. 刊行物

1. 『経営経済』第55号 2019（令和元）年12月10日

論文

- 三島 重顕, 遠原 智文, 前田 卓雄「後発薬の普及が調剤薬局企業に与える影響（2）
－アインホールディングスの事例－」

共同研究活動報告書（2018年度）

- 藤井 大輔『一帯一路プロジェクトによる産業構造への影響』グループ
伊藤 大一『グローバル化と社会関係資本を中心とした地域創生』グループ
江島 由裕, 吉野 忠男, 足代 訓史『アントレプレナーシップ研究』グループ
太田 一樹『企業の国際化と経営戦略に関する研究－現地化戦略と政策支援を中心に－』
グループ

2018（平成30）年度 中小企業・経営研究所報

2. 『中小企業季報』

・2019 No. 1 2019（令和元）年4月20日

- 安藤 信雄「情報創造型生産の費用収入モデルによる高収益中小企業の考察」
丹下 英明「海外に展開する日系繊維企業の現状と課題－日系縫製業者による国内
外での事業展開を中心に－」

解説および書評

・2019 No. 2 2019（令和元）年7月20日

- 飛田 努「組織成員の自律を促すマネジメント・コントロール・システムの設計
と運用－株式会社ゲイトにおける事業構造の変化に伴う業績管理シス
テムの整備を題材に－」

- 長野 寛之「日本の中小企業のためのものづくりポジショニング戦略」

解説および書評

・2019 No. 3 2019（令和元）年10月20日

- 加藤 雄士「中小企業の組織開発のプロセスに関する質的研究－I社のケースを中
心として－」

- 黄 完晟「戦後における日本の中小企業の成長指向性」

解説および書評

・2019 No. 4 2020（令和2）年1月20日

- 伊藤 薫「地方地場産業への他地域からの人材供給－岐阜県飛騨地域の木工産業
のケーススタディー」

- 許 伸江「オープンファクトリーの意義と効果－墨田区の「スミファ」の事例－」

関 千里（短信）「日本中小企業学会第39回全国大会記 統一論題『事業承継と中小企業－大廃業時代を生き抜く中小企業－』」

解説および書評

VIII. 対外活動

（１）対外経済団体・関係機関への協力

- １）専門図書館協議会
- ２）大阪府商工労働部との官学連携
- ３）独立行政法人中小企業基盤整備機構との官学連携

IX. 研究所人事

所 長 小谷 融

研究所員

〔経済学部〕 吉田建一郎, 伊藤 大一, 重光 美恵, 藤井 大輔, 小川 貴之,
中尾田 宏

〔経営学部〕 伊藤 裕人, 後藤 一郎, 太田 一樹, 井形 浩治, 江島 由裕, 吉野 忠男,
田中 健吾, 遠原 智文, 三島 重顕, 高原 龍二

〔特別研究所員〕 松岡 憲司（龍谷大学名誉教授）, 阿部 聖（愛知大学地域政策学部教授）, 永島 昂（立命館大学産業社会学部准教授）, 藤野 義和（九州国際大学現代ビジネス学部准教授）, 相原 基大（北海道大学大学院経済学研究院准教授）, Brian S. Anderson（Assistant Professor University of Missouri-Kansas City）, 越村惣次郎（大阪府商工労働部大阪産業経済リサーチ&デザインセンター主任研究員）, 平井 拓己（武庫川女子大学生生活環境学部准教授）, 足代 訓史（拓殖大学商学部准教授）, 須佐 淳司（常葉大学経営学部准教授）

〔産官学連携特別研究所員〕

北出 芳久（大阪府商工労働部商工労働総務課）

町田 光弘（大阪府商工労働部商工労働総務課）

須永 努（大阪府商工労働部商工労働総務課）

天野 敏昭（大阪府商工労働部商工労働総務課）

田中 宏昌（大阪府商工労働部商工労働総務課）

事務職員 大塚 好晴, 後藤 健治, 野田 勝子

準職員 小笠原洋子, 宮地 詠子

X. その他

特記事項なし